

各位

2014年8月8日

KNT－CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03－6891－6839

旅行取扱状況の概観（平成26年6月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取扱いは、一般団体は前年比107.0%、学生団体は同104.8%と上回り、団体旅行合計で同106.7%と前年を上回った。企画旅行については前年比95.4%と前年を下回ったものの、個人旅行については同120.6%と前年を大きく上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比104.1%と前年を上回った。

国内旅行の取扱いは、一般団体は前年比101.4%、学生団体は同101.9%と上回り、団体旅行合計で同101.7%と前年を上回った。企画旅行については前年比97.7%、個人旅行についても同96.9%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、99.1%と前年をやや下回った。

外国人旅行は、前年比139.9%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の6月の総取扱額は前年比101.4%となり前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体はワールドカップの取扱いもあり前年比107.4%と前年を上回った。学生団体は堅調な取扱いで同104.8%と前年を上回った結果、海外団体旅行合計で同107.0%と前年を上回った。

国内団体については、一般団体は堅調に推移し前年比101.5%と前年を上回った。学生団体は宿泊研修や部活動の遠征などの修学旅行以外の取扱いが増加し、同101.9%と前年を上回った結果、国内団体旅行合計で前年比101.7%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比91.2%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、関西・中国四国・九州方面が好調を維持している。一方北海道・東北方面が不調であり、加えて伊勢神宮の遷宮行事などの反動もあり伊勢志摩方面を中心として中部地方が伸び悩んだ。

ホリデイは、引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調である。各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、クルーズ商品が不調であったものの、アメリカ・オセアニア方面、SIT商品が好調に推移し、前年比111.9%と前年を大きく上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は北海道・九州・沖縄など航空機利用方面は好調に推移したが、遷宮効果のあった伊勢志摩・出雲方面の落ち込みが顕著となってきており、前年比96.6%と前年を下回った。

バス旅行部門は宿泊バス旅行が伸び悩んだものの、日帰りバスツアーは堅調に推移し、前年比101.9%と前年を上回った。

テーマ旅行部門は、シリーズ商品の販売不振により前年比92.5%と前年を下回った。

以上